

DAIFUKU

Business Report

第86期中間事業報告書

平成13年4月1日～平成13年9月30日

株式会社ダイフク

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第86期中間期(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)の事業報告書を株主の皆様にお届けするにあたり、平素のご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

当中間期のわが国経済は、外需や家計部門の低迷に加え、減少に転じた公共投資の影響も受け、鉱工業生産が大幅に減少いたしました。このため企業収益も製造業を中心に悪化し、とりわけ半導体不況を契機に前期後半から設備投資が大幅に減少しました。

海外においても、引き続き減速の度合いを強めている米国経済の影響が、回復基調にあった韓国、台湾をはじめとするアジア諸国の経済に大きな影を落とし、世界景気の先行き不透明感を加速いたしました。

このような状況下、当社の属する業界におきましても、IT関連業界を中心に設備投資が抑制され、厳しい環境の中にあります。自動車業界向け生産ラインの引合の増加により、受注高は目標額を達成しました。一方、売上高はIT関連業界を中心に一部下期以降に反映されることとなりましたので、目標を若干下回る結果となりました。

経常利益、中間利益につきましては、経費削減等の収益改善により、目標を上回ることができました。

当社は、2001年度を初年度とする「新中期3カ年経営計画(Challenge & Creation Plan)」を策定しました。このC&Cプランでは、IT革命・物流革命に挑戦し、創造する姿勢を明確にしました。

前中期経営計画(1999.3期～2001.3期)で達成した成果を踏まえて、マテリアルハンドリングシステム・機器類を基軸とするコア事業の品質、コスト競争力をさらに強くし、質・量ともに充実した事業展開を図るとともに、グローバル規模で起こりつつある市場の大変動に合わせて新規事業創出を含む事業再編に取り組み、世界最強のマテリアルハンドリングメーカーを目指すこととしました。

また、C&Cプランの必達と、より抜本的な収益体質への変革を図るため、新たに、経営改革委員会を設置し、生産・販売・グローバル・新規事業等のカテゴリーについて役員自らがリーダーとしてクロス・ファンクショナル方式で課題対策に取り組んでおります。

ITビジネスへの対応を最重要な市場戦略の一つと考えており、より一層の高効率経営を推進し、21世紀社会において、存在価値のある企業を目指していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

取締役社長 小泉 純一



営業の概況

全般の成果

第86期中間期全般の成果につきましては、以下の通りでございます。

受注高	511億55百万円(前年同期比 17.8%減)
売上高	469億8百万円(前年同期比 14.3%増)
営業利益	4億46百万円(前年同期比 44.7%減)
経常利益	3億45百万円(前年同期比 55.7%減)
中間利益	1億14百万円(前年同期比18億59百万円増)

部門別の経過および成果

搬送システム部門

受注高は、国内外の自動車業界向けコンベヤシステムの新設・更新ならびに、商業・小売業界向けの仕分けを中心とした搬送システムの増加により、253億78百万円(前年同期比 37.1%増)となりました。

売上高は、国内外の自動車業界向けコンベヤシステム・モジュールシステムの更新ならびに前期後半に受注したエレクトロニクス業界向けの搬送システムが売上に寄与したため、174億円(前年同期比 3.4%増)となりました。

保管システム部門

受注高は、商業・小売業界向けの中型自動倉庫が増加いたしました。IT関連の需要低迷によりエレクトロニクス業界向けが激減したため、138億42百万円(前年同期比57.8%減)となりました。

売上高は、前期後半に受注したエレクトロニクス業界向けの小型自動倉庫システムならびに商業・小売業界向けの大型自動倉庫システムの売上により、182億25百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

物流機器部門

前期に引続き代理店・販売店を中心に地域に密着したきめ細かな販売活動を展開して、商量の確保に懸命に努めてまいりましたが、受注高は59億23百万円(前年同期比0.9%減)、売上高は56億15百万円(前年同期比1百万円増)を計上することとなりました。

その他の部門

主要製品であります洗車機は、販売会社の強化により拡販を図ってまいり、一定の成果をあげることができました。一方パソコン関連の電子部品はIT関連の需要低迷により減少に転じましたが、この部門全体では、受注高60億10百万円(前年同期比22.6%増)、売上高56億67百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

設備投資と資金調達の状況

当中間期は、滋賀事業所における生産設備の更新等を中心に1億26百万円の設備投資を実施し、この所要資金は自己資金でまかないました。

その他報告事項

・新会社設立

今年7月に株式会社ダイフク技術研究所を設立し(当社100%子会社)、マテリアルハンドリングの基盤となる新規技術を戦略的に調査・研究を行い、グループの製品競争力の強化を図ることとしました。

・リスクマネジメントシステム

米国での同時多発テロを契機に、リスクマネジメントのさらなる強化を図るべく、全社的な体制を構築しスタートしました。

今後の見通し

経済見通しにつきましては、国内景気回復に時間がかかるものと予測される上、米国景気の低迷により、世界経済の早期回復は見込めず、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。このため経営環境の更なる厳しさも予測され、予断を許さない状況であります。

このような状況の中、多様化する需要の動向に応えるべく、研究開発体制の強化、生産機種の新編、集中購買体制の確立による世界最適調達ならびに海外を含めたサプライヤーとの連携強化により、世界最適地生産の積極的な推進を行い、製品の品質、コスト競争力の向上を図ってまいります。

営業面では、既存ユーザーとの取引関係の強化ならびに販売拠点の統廃合により販売体制のさらなる強化を図る一方で、機器製品におけるネット販売への移行を図るなど、全社あげて業績の向上に取り組んでまいり所存であります。

中間貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

百万円		百万円	
資産		負債及び資本	
(資産の部).....	129,508	(負債の部).....	79,539
流動資産.....	75,811	流動負債.....	58,151
現金及び預金.....	4,731	支払手形.....	7,632
受取手形.....	2,963	買掛金.....	8,432
売掛金.....	28,151	短期借入金.....	3,500
自己株式.....	0	一年以内に返済予定の長期借入金.....	2,000
棚卸資産.....	36,586	一年以内に償還予定の社債.....	20,000
その他.....	3,536	コマーシャルペーパー.....	6,000
貸倒引当金.....	157	前受金.....	7,230
		その他.....	3,356
固定資産.....	53,696	固定負債.....	21,388
有形固定資産.....	25,997	長期借入金.....	12,000
建物.....	11,273	退職給付引当金.....	7,946
機械及び装置.....	4,272	その他.....	1,441
土地.....	7,750		
その他.....	2,701	(資本の部).....	49,968
無形固定資産.....	1,150	資本金.....	8,023
投資等.....	26,548	法定準備金.....	7,016
投資有価証券.....	7,663	資本準備金.....	5,011
子会社株式.....	11,822	利益準備金.....	2,005
その他.....	7,209	剰余金.....	34,397
貸倒引当金.....	147	任意積立金.....	32,560
		配当準備積立金.....	7,000
		退職積立金.....	302
		固定資産圧縮積立金.....	257
		別途積立金.....	25,000
		中間未処分利益.....	1,836
		(うち中間利益).....	(114)
		その他有価証券評価差額金.....	531
合 計.....	129,508	合 計.....	129,508

- 注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 39,844 百万円
 2. 受取手形割引高 3,500 百万円
 3. 保証債務 3,199 百万円
 4. 単位未満株式の買取請求に伴う一時保有の自己株式 70 株

中間損益計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

	百万円
経常損益の部	
営業損益の部	
営業収益.....	46,908
売上高.....	46,908
営業費用.....	46,462
売上原価.....	40,881
販売費及び一般管理費.....	5,580
営業利益.....	446
営業外損益の部	
営業外収益.....	404
営業外費用.....	504
経常利益.....	345
特別損益の部	
特別利益.....	219
特別損失.....	330
税引前中間利益.....	234
法人税、住民税及び事業税.....	390
法人税等調整額.....	270
中間利益.....	114
前期繰越利益.....	1,534
退職積立金取崩額.....	187
中間未処分利益.....	1,836

(ご注意) この中間事業報告書は、当社第86期中間期(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)の営業の概況等をお知らせするものであります。
なお、株主総会の招集、配当金のお支払いはございませんのでご了承下さい。

中間連結貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

百万円	百万円
資産	負債・少数株主持分及び資本
(資産の部).....147,155	(負債の部)..... 96,426
流動資産..... 98,670	流動負債..... 72,399
現金及び預金..... 10,853	支払手形及び買掛金..... 20,193
受取手形及び売掛金..... 39,976	短期借入金..... 10,860
棚卸資産..... 42,701	一年以内に償還予定の社債..... 20,000
繰延税金資産..... 908	コマーシャルペーパー..... 6,000
その他..... 4,499	未払法人税等..... 901
貸倒引当金..... 270	その他..... 14,444
固定資産..... 48,484	固定負債..... 24,026
有形固定資産..... 29,443	長期借入金..... 13,920
建物及び構築物..... 14,606	繰延税金資産..... 1
機械装置及び運搬具..... 4,714	退職給付引当金..... 8,034
工具器具備品..... 1,184	その他..... 2,070
土地..... 8,769	
建設仮勘定..... 106	(少数株主持分)..... 255
その他..... 62	少数株主持分..... 255
無形固定資産..... 2,179	(資本の部)..... 50,473
投資等..... 16,861	資本金..... 8,023
投資有価証券..... 8,202	資本準備金..... 5,011
長期貸付金..... 639	連結剰余金..... 36,438
繰延税金資産..... 3,643	その他有価証券評価差額金..... 444
その他..... 4,647	為替換算調整勘定..... 556
貸倒引当金..... 270	自己株式..... 0
合計.....147,155	合計.....147,155

中間連結損益計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

		百万円
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益	65,477	
売上高	65,477	
営業費用	64,173	
売上原価	54,434	
販売費及び一般管理費	9,738	
営業利益	1,304	
営業外損益の部		
営業外収益	429	
受取利息及び配当金	154	
その他	275	
営業外費用	661	
支払利息	531	
その他	129	
経常利益	1,072	

		百万円
特別損益の部		
特別利益	219	
投資有価証券売却益	219	
特別損失	542	
固定資産除却損	9	
退職給付引当金繰入額	291	
役員退職慰労金	224	
その他	16	
税金等調整前中間利益	750	
法人税、住民税及び事業税	714	
法人税等調整額	422	
少数株主利益	17	
中間利益	310	

中間連結剰余金計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

		百万円
中間連結剰余金計算書		
連結剰余金期首残高	37,294	
連結剰余金減少高	1,166	
利益配当金	1,136	
取締役賞与	30	
中間利益	310	
連結剰余金中間期末残高	36,438	

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

		百万円
中間連結キャッシュ・フロー計算書		
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,702	
投資活動によるキャッシュ・フロー	253	
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,562	
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	
現金及び現金同等物の増加額	1,401	
現金及び現金同等物期首残高	12,038	
現金及び現金同等物中間期末残高	10,636	

トピックス

組織

コーポレートガバナンスの強化
執行役員制度を7月よりスタートさせました。取締役会での意思決定に基づき、各部門での迅速な業務執行を図ります。

インターネットの活用

ホームページを全面リニューアル
グループ全体としての統一したデザインで、ホームページをリニューアル。分かりやすいメニュー表示、訴求力ある映像を盛り込む一方、ダイクユニックスのページも加えて内容を充実させました。

登録会員向け情報サービス開始
DALS-eサロンを開設、物流センターのリニューアルや移転に関する会員相互間の情報交換の場としました。物流でお困りの問題に関する診断コーナーや、定期的なメール情報サービスなども盛り込んでいます。
(DALS = Daifuku Automated Logistics System)

グローバル化

韓国にIT関連企業向け組立工場
年内完工予定にて、CFI (CLEAN FACTOMATION INC.) の組立工場をIT関連企業の多い天安市に建設中です。

米国子会社ESKAY社本社(ユタ州ソルトレークシティ)にデモンストレーション・トレーニングセンターを開設しました(10月1日)。

上海の物流展に出展
11月に開催された中国初の本格的な物流展CeMAT China2001(上海)に初出展。有望市場への布石としました。

環境その他

環境
ホームページに環境への取り組みを追加、将来作成予定の環境報告書なども広く開示していきます。また、環境関連商品として「廃家電回収コンテナ」を発売しました。

東アジア競技大会で特設ボウリング会場設置
5月19日～27日、大阪府内各所で開催された「東アジア競技大会」で、世界初の公式戦特設レーンを堺市金岡体育館に設置しました。



全面リニューアルしたホームページ
(<http://www.daifuku.co.jp/>)



ESKAY社デモ・トレーニングセンター開所式



CeMAT China2001(上海)当社ブース



東アジア競技大会特設レーン

製品のご案内



ロボットを利用した“パレットtoパレット”ピッキングシステム



自動倉庫 ラックビルシステム と軌道式電動台車
ソーティングトランスピール



モノレールシステム ラムランヘッド



300mm半導体搬送システム
クリーンウェイ



重量級移動棚 移動ラック



物流センター管理システム<ウェアナビ>による出荷検品



自動洗車機 ツインスルー

会社概要

社は **日新**

創 立 昭和12年5月20日
資 本 金 8,023,016,656円
(平成13年9月30日現在)
発行する株式総数 2億株
発行済み株式総数 113,670,721株
(平成13年9月30日現在)

役員(平成13年9月30日現在)

取締役社長	小 泉 純 一
取締役副社長	竹 内 克 己
常務取締役	大 澤 勲
常務取締役	下 野 政 紀
常務取締役	漆 崎 榮 二 郎
取 締 役	川 野 昇
取 締 役	小 林 史 男
取 締 役	天 草 晴 吉
取 締 役	平 井 豊
取 締 役	葛 城 日 文
取 締 役	柿 沼 清 毅
取 締 役	井 澤 悦 男
取 締 役	吉 永 良
取 締 役	北 條 正 樹
監査役(常勤)	関 戸 治
監査役(常勤)	中 谷 保 厚
監査役(常勤)	今 井 昌 夫
監 査 役	阿 達 哲 雄

(注) 監査役のうち、関戸 治氏および阿達 哲雄氏は商法
特別法第18条第1項に定める社外監査役であります。

経営理念

1. 広く国内外に、最適・最良のマテリアル ハンドリング システム・機器類を提供し、産業界の発展に貢献します。
2. 収益性を重視した、健全で成長性豊かな経営を目指します。
3. 上下・左右に情報が飛び交う、自由闊達な明るい企業風土をつくります。

事業所所在地

本 社	TEL.06-6472-1261	〒555-0012	大阪市西淀川区御幣島 3-2-11
東京本社	TEL.03-3456-2231	〒105-0014	東京都港区芝 2-14-5
小牧事業所	TEL.0568-74-1500	〒485-8653	愛知県小牧市小牧原新田 1500
滋賀事業所	TEL.0748-53-0321	〒529-1692	滋賀県蒲生郡日野町中在寺 1225
北海道支店	TEL.011-272-2751	〒060-0062	札幌市中央区南二条西 9
東北支店	TEL.022-215-3355	〒980-0014	仙台市青葉区本町 1-11-2
高崎支店	TEL.027-324-8130	〒370-0849	群馬県高崎市八島町 58-1
北関東支店	TEL.048-654-9152	〒330-0037	埼玉県さいたま市東大成町 1-497
千葉支店	TEL.043-256-5841	〒263-0024	千葉県稲毛区穴川 3-5-27
横浜支店	TEL.046-225-1350	〒243-0018	神奈川県厚木市中町3-11-18
名古屋支店	TEL.052-204-3333	〒460-0008	名古屋市中区栄 2-3-1
静岡支店	TEL.054-272-6111	〒420-0851	静岡県静岡市黒金町 59-7
岡崎支店	TEL.0566-74-7781	〒446-0045	愛知県安城市横山町菅池34-1
東海支店	TEL.0565-28-7311	〒471-0841	愛知県豊田市深田町 2-48
北陸支店	TEL.076-223-3137	〒920-0064	石川県金沢市駅西新町 3-16-32
中国支店	TEL.082-824-0385	〒736-0034	広島県安芸郡海田町月見町 3-6
四国支店	TEL.087-885-5521	〒761-8084	香川県高松市一宮町 270-2
九州支店	TEL.092-473-6681	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前 2-3-23

株 主 メ モ

決 算 期 日 3月31日

定時株主総会 6月中

基 準 日 毎年3月31日

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪第1部、東京第1部、
名古屋第1部

名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社
証券代行部

(電話照会先) 住所変更等用紙のご請求
☎ 0120-175-417

その他のご照会
☎ 0120-176-417

(インターネット
ホームページURL) [http://www.sumitomotrust.co.jp/
STA/retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社
全国各支店

株式会社ダイフク

本社:〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL (06)6472-1261(代)
東京本社:〒105-0014 東京都港区芝2-14-5 TEL (03)3456-2231(代)

<http://www.daifuku.co.jp/>